



内子座 藝於遊



素屋根の完成

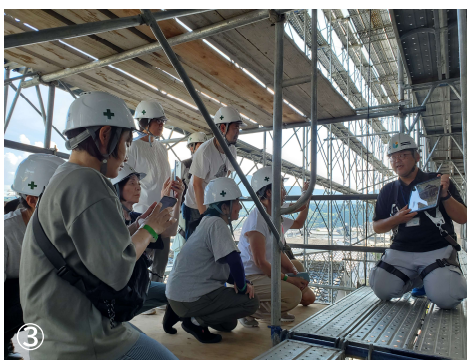
令和7年9月5日、素屋根が完成したとの連絡を受け、上空からの写真を撮影しようとドローンを準備し、慎重に撮影に臨みました。撮影されたのが右の写真です。ステンレス製の折板とともに、内部の明かり取りのため、ポリカーボネート材の折板が使われています。屋根が取り付けられたことで、今後は内子座の屋根の解体が進んでいくことになります。また、この後、西側の足場組立とともに、内子座正面（南側）の足場が組み替えられ、4月から始まった外部足場もようやく完成の日を迎えることとなります。



内子座見学会の開催

9月13日・15日の両日、工事が始まって初の見学会を開催しました。2日間で8回行い86名が参加。

参加者はヘルメットを装着し、①最初に保存修理全体の説明を聞いた後、②急な足場階段を上って地上8mのところへ。③瓦を中心とした説明を聞き、④慣れない腰ベルトをつけ、狭い通路をつたって内子座正面へ。瓦のある内子座の最後の姿を堪能しました。⑤最後は楽屋で保存修理のビデオを鑑賞しました。



神棚の移動

内子座の木戸内に設けられていた神棚を楽屋に移動しました。台風時に破損して以来、内子座の稲荷社にいた内子座の狐とともに、楽屋玄関にお祀りしています。今後は楽屋から、工事の行方を見守ってくれることでしょう。

